

磐城時報

福島縣石城郡平町雄町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 加納活版所
福島縣石城郡平町雄町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳圓二ヶ月金五拾錢
廣告料一行十四字金五十錢
A日刊(日曜祭日)休刊

流失した稲束の 分配問題で紛擾

郡農會で對策協議 豪雨被害後報

石城地方を襲った豪雨の被害は災による住宅復舊のため、かねての如くであるが、石城地方で縣を通じ低資融通方申請中で農村では目下稲刈り上げ最中なあつたが二十六日金三萬圓を融並に明後六年度に於て各五萬四千六百三十三圓宛支出することに決定これが繼續年度及支出方法變更を今期縣會に提案した。

六分配當

平町平製氷株式會社、株主總會は二十六日午前十時から開き、昭和四年度決算の件を協議し異議なく承認した、同期の純利益金は二萬四千五十一圓四十四錢六厘で配當は年六分に決定した

工藝協會に 入會勧誘

平町に於ける木工業は最近著しく進歩し有數となつてゐるが今回仙臺市に創立された、東北工藝協會では平町に對し木工業者の入會勧誘方を依頼して來たので伏見町長は二十七日平指具建物商組合に對し入會を勧誘した。

三萬圓融通

内務省から通知
石城郡鹿島村では今春二月の火

石城郡地方に 肺患者の多い原因

巡回診療の結果、鑑み 共済病院松枝博士が調査

平町磐城共済病院では既報の如く内科六名、耳鼻咽喉科十三名、去る十月二十一日茨城縣大津眼科七名の患者で、内科が大部分を占めてゐるが、内科患者の村郡小野新町外十ヶ村の巡回診七割迄は胃腸病患者である、同病を行つたが、その結果を見る病院平常の手當の患者を見る。大津町では内科四十六名、外産んど大部分は呼吸器病である。科二十六名、婦人科七名、耳鼻が、大津、小野新町兩方面共平咽科三十四名、小野新町では地方に反對に胃腸病患者が多く、外科三十三名、外科十七名、婦呼吸器病が多いのは如何なる關係によるものかその原因を調査する事は診療上に参考になる点があるであらうとして、同病院松枝博士をして詳細に調査せしめる事になつた。

係によるものかその原因を調査する事は診療上に参考になる点があるであらうとして、同病院松枝博士をして詳細に調査せしめる事になつた。

債券變造の一味 全部福島に護送

事件は福島で審理

國庫債券變造の犯人小泉浩(四四)は既報の如く福島商業銀行の不正事件にも關係があるので二十二日福島刑務所に護送されたが、その他の北郷竹次郎(五二)上野耕三(五二)鯨岡清一(二九)三名の外其後連類者として收容された小林忠雄(三三)の四名は二十八日福島刑務所に護送される事になつたが、事件は福島地方裁判所の手によつて審理される事になる模様である。

熱湯を浴せて
夫殺し公判
あす平に開く
双葉郡龍田村大字井出松木イタ(三四)が夫豊(四一)からあらぬ嫉妬心を醸された結果毆打されたのを憤慨し十月三日の真夜中に至らしめた事件の公判は二十八日平支部において千葉裁判長、武田検事係、千葉彦治辯護士立會の上開廷の筈。

棋仙の會

石城郡豊間村縣立回春園長川井重之氏は二十三日自宅に於て石城郡内園藝同好者を招き棋仙の集會を催はしたが、結果左の如し。

▲一等一〇〇点 飛塚高治
▲二等八〇〇点 柳澤今朝市
▲三等六〇〇点 山崎徳次郎
▲四等四〇〇点 御代定吉
▲五等二〇〇点 池部虎雄
▲五人抜宮下秀貞、額賀廣治
▲進歩賞川井重之。

中堅農民講習會

城郡農會主催中堅農民講習會は来る十二月十日平町に於て開催するが、左の箇所を見學するとするが、片倉磐城製糸紡績工場▲平區裁判所 ▲平町農會 ▲其他

立憲養正會

國体主義政治の樹立を叫んでる立憲養正會では、石城郡地方を中心に支部を設立し、無産黨を對立して政治の革新をなすべく種々準備中であつたが、廿六日午後六時から湯本町三函座、廿七日午後六時から平町の聚樂館に於て磐城支部の創立發會式を舉行する事になつた、當日は養正會總裁田中澤二氏も臨席して國体主義に依る政治の樹立について講演をなす筈であるが、無産黨が相當に活躍してゐる常磐地方に國体主義の立憲養正會が支部を設けて地盤の開拓を圖る事になつたので、同會の活動は頗る注目されてゐる。

坑内に毒ガス發生 夫婦で慘死

石城郡湯本町入山炭礦第四坑坑猛烈な瓦斯が発生してゐるので夫東京市日本橋區和泉町生れ川口徳太郎(五〇)は二十六日午前八時内線の妻石城郡大浦村大字八時内線の妻石城郡大浦村大字狐塚生れ推名マツ(二八)を後山として採炭のため第四坑南一電御左七片に入坑したが、瓦斯が発生したらしいので現場員は從業員の出坑を命じた處、徳太郎の兩名は採炭道具を忘れて來たのに氣付き現場に戻つたが

▲平町會の問題となつて居る電燈料値下げの議題は是非徹底的に進展して貰ひたい、僕の要求の一つは休燈料の撤廢である、電燈を休燈して居るのに毎月十五錢つゝを徴収するのは何事である、余りに人を馬鹿にしたる要求に應ずる理由が無からうと思ふ、是非休燈料を廢して貰ひたい(貧乏長屋生)

時報文藝
末坊
草葉のかげに
虫はなく
ボトリ葉露は
落ちました
虫の啼く音の
悲しゆてか
草葉のかげに
虫はなく
ボトリ涙が
落ちました
ふと亡き母の
思はれて
草葉のかげに
虫の啼く。

驚いた!!!
平・加納活版所の印刷物

政治家の手際

提防が崩れたやうに物價値下げのラッシュにアワテ、だが、収入が窒息しては何んにもならず。

共産黨戦死のため、解放運動犠牲者救済會が活躍して縛られる「日本共産史」や「共産黨始末書」を出版して喰ひものにする素ばしこい奴もいる。

金解禁に反対して、井上蔵相に獅噛み付いた久保某なる經濟學者がゐた。藏相、蚤ほごも痛がらす。

國家のゴロバカンダにお祭騒ぎはないものはない、今度中央と呼應してか、各地方の長官連も率先して華々しく教化總動員の除興を行つた「教化網完成促進」の網は息が荒い「國民的訓練週間」の名の下に年二回は行ひたいと云ふ。市町村教化の細胞組織を確立して、教化機關の中心はなるべく町村長が學校長にすべしとの意圖が有力である。

筆者は必ずしもこれに反対はしない。たがいに、街頭に活用出来ない教育だつたら、百萬遍線返しても同じことだと注意したい。それでも未だ低能なデクの坊があると思つたら、さう云つた者だけども眼つぶしかけて地獄谷へ引つ張つてゆくがよい。此の手、あつては騙してみるのがいい。

七五三御祝

御花嫁御祝着特賣
金解禁と新安値
全商品の宣傳價
十二月一日ヨリ
人形七五三宮詣り陳列
(十一月廿日ヨリ)

三井呉服店

靴とカバン

福山に限る
平町役場前 福山靴店
東西!!東西!!! 不老長壽をお望みの皆様へ御披露申し上げます。此の度平町

七丁目熱心湯

が出來ました
薬湯は毎日午前十時からあります。特効は▽胃腸の弱い人▽精力減退の人▽老衰、病衰の人▽顔色悪るき人▽貧血、冷性の人▽虚弱、病弱の人▽神経痛の人▽リウマチスの人▽子宮血の道の人▽其他一般身體弱き人

湯治の御方は休憩室も澤山あります。二階座敷料共大人一日廿五銭、小人十銭。其他組合定めの通り。此の薬湯は良く効く、良く温まる。と大變な評判です。どうぞお運びの程を御願申上します。

新妻眼科醫院

入院應需 ◆看護婦一名至急募集
平町字紺屋町

肺病助膜 専門薬

不パ錠 薬價 十一日分 七〇〇
卅三日分 二〇〇〇

◆試用者の感謝と、好評なる賣行きとは其優秀なる効果を立證せり。
▲故に輕症期に於ける人々よ、直ちに服用し以て一刻も早く健康体に復せよ。
▲則ち本品の現出は、病者を救ふに偉大なる福音なり。
▲説明書密送す、御申込あれ。

代理店 平町 山野邊藥局
五丁目角

演續ドンバスヤジトイランサ

容陣の館當そこ姿勇るた燦り獨に線戦畫映躍飛躍勇
團樂ズヤジの行流大的界世代近

◆二十八日御好週間プログラム

松竹大作流行小唄映畫
原作 葛見丈夫
監督 比佐沼千定
佐渡おけけ 情緒
岩田祐吉・浪花友子 主演
佐渡へい 草木もなび
佐渡は居よいか住みよいか
來い云ふたどて行かりよか佐渡へ
佐渡は四十九里波の上

◆ジャズ部員演奏・獨唱
部員 演奏・余興數番
◆御好み再上映・名畫
美劍士 澤田 清 櫻井京子 主演
連劍士 澤田 清 櫻井京子 主演
劍史 落花劍光 録 上全部
初篇より終篇迄、全二十四巻
◆日活大作◆雜誌富士連載◆
監督 三上 英次郎
原 濱 英次郎

料金普通 ◆來週維新京洛(平館)日活

防寒!!

眞綿入毛シャツ
眞綿入都巻
婦人シヨール
マガレットオーバー
メリヤスシヤツ
等々... 流行と經濟とを兼ねた防寒具の色々

平町田町(電話五二三番)

高久病院
醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話 八六番

液体空氣會社製(酸素含有量九分五)
(東京工業試驗所長證明)
吸入用酸素酸素吸入器

正確な体温器寒暖計

特設平町
開内藥局
店約 電四〇番

印...刷...物...は...加...納...活...版...所

防寒!!

眞綿入毛シャツ
眞綿入都巻
婦人シヨール
マガレットオーバー
メリヤスシヤツ
等々... 流行と經濟とを兼ねた防寒具の色々

平町田町(電話五二三番)

高久病院
醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話 八六番

液体空氣會社製(酸素含有量九分五)
(東京工業試驗所長證明)
吸入用酸素酸素吸入器

正確な体温器寒暖計

特設平町
開内藥局
店約 電四〇番

印...刷...物...は...加...納...活...版...所